

子どもの成長

ポリテクカレッジ京都の後藤先生より紹介を受けましたポリテクセンター関西の森岡です。後藤先生とは、私がポリテクセンター関西に新任で来たときに知り合いました。席がお隣ということもあり、アビリティー・セミナーに関する業務はもちろんのこと、公私を含めているようなことを教えていただいた良き先輩です。

新任でポリテクセンター関西に来てから、もう4年が過ぎようとしております。私はポリテクセンター関西に赴任した年に結婚をし、次の年には娘を授かりました。最近、娘が成長していることを感じさせられることが多くありましたので、子どもの成長をテーマにしてみたいと思います。

私の娘は平成15年7月24日に2,430gで生まれました。通常は出産時に2,500gを下回る体重だと保育器に入れられてしまいます。しかし、泣き声が非常に大きかったために医者からは「大丈夫だろう」の一声で保育器に入らずにすみました。赤ちゃんは家族が見られるようにガラス越しに並んでベッドに寝ているのですが、他の子に比べて体重が少ないために一際小さく見えたのを今でも鮮明に覚えています。

現在は生まれてから2年が経ち、娘も大きくなりましたが、同じ2歳児に比べると幾分か小さいようです。しかし、体は小さいものの、口は日に日に達者になっていきます。私はタバコを吸うのですが、家に帰って子どもにできるだけ影響のないようにベランダでタバコを吸っていると、娘がこっそりとベランダの窓をあけ、「パパ、タバコやめて」と母親のまねをしながら言ってきます。最初はかわいいと思っていたものの、最近は少々疎ましく思うこともあります。また、どこで覚えてきたのか、いつ覚えたのかわからないのですが、曾祖母と呼ぶと腰

を曲げて手を後ろに組み曾祖母のまねをしたりもします。だれもこのようなことは教えていないのですが、子どもはよく見て、観察し、まねをしているようです。この2年の月日の中で親や周りの人の言動をみて、どの場面で使う言葉であるのか、どのような格好をしているのかを子どもながらに感じ、成長していることに感心しております。

「士別れて三日括目して相待す」という言葉があります。子どもの場合は志というよりは本能に近いものだとは思いますが、三日経って良く見てみたら驚くぐらい成長しているように感じさせられます。私も娘を持つことによって、子どもの成長の早さを実感しました。また、子どもを持つことにより自分の親へのありがたみも強く感じるようになりました。このようなことを私が感じられるようになったのも、家族を持ったおかげだと思います。子どもの成長とともに自分自身も少しは成長しているように感じます。来年には、もう1人家族が増え、私は2児の父となります。これからも子どもの成長を温かく見守っていきたいと思います。

次のリレートークはポリテクセンター兵庫の江口先生です。私が職業能力開発総合大学校の電子工学科で学んでいたときにお世話になった先輩になります。それではよろしく願いいたします。